

学びをひろげる (第11回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2015年7月18(土) (1時45分~5時)
場所 クレオ大阪東
(大阪市城東区鳴野(しぎの)西 2-1-21 ☎06-6965-1200)
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。



京橋駅 (JR線) 南口から南へ約600メートル
大阪ビジネスパーク駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)
4番出口から東へ約700メートル
京橋駅 (京阪線) 中央口から南へ約850メートル

一人で拡がらない学びを○人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合いましょう。



前回 第10回の内容

Raja Ratna Sthapit さん (NPO 法人クロスカルチャーメディア専務理事) に、「異文化コミュニケーション」: 「異文化を知る、自分を知る」ために」をテーマに、提案していただきました。最初に参加者が「自分にとっての異文化との出会い」を話したのですが、生き立ちをふり返りながら語る深い交流になりました。「異文化」とは実にさまざまであり、また身近にあるものだと気づきました。その「異文化」との出会いを通して私たちは人生の節目となるような経験をしているのかもしれないと思ってきました。◆ラジャさんの講演: 25年前に来日。学生生活を送る。様々な異文化体験。最初に印象に残ったのは「忙しい」ということ。「ちがい」を経験し、生活する内に疲れてきた。「ちがい」はどこにでもある。「ちがい」はすばらしい。「ちがい」はおもしろい」と心から感じたとき、乗り越えることができた。その経験からたどりついたのが、「異文化を知る、自分を知る」ということ。それを伝えたいと思い、『カトマンドゥ通信』を創刊、20年経った現在100号を発行。子どもたちが「ちがい」はへんだ」ではなく、「ちがい」はおもしろい」と感じるようになれば、イジメもなくなり平和な社会が生まれるのではないかと。高校や支援学校、小学校で「異文化コミュニケーション」のワークショップを行う。異文化はただのきっかけで、その「ちがい」とどう向き合うのかわかれば学びが生まれる。◆自由交流では、子どもが自由に意見を述べ、話し合う授業をしてこなかった日本の学校教育の問題が出てきました。ラジャさんのいう「異文化コミュニケーション」の考え方や授業を、学校現場に反映できないか、考えたいと思いました。



研究会の様子

今回 第11回は



子どもの課題? 教師の課題? 集団の課題?

提案 松井直哉さん (東大阪市立成和小学校)

ベテラン教師の松井さんが、授業について、子どもについて、学級づくり、学校づくりについて縦横無尽に語ります。「子どもが話を聞けない?」「子どもが自分の意見を発表できない?」、それはいったい「子どもの課題? 教師の課題? 集団の課題?」と問いながら、「混乱するっていけないの?」とさらに自他を追求して行きます。子どもたちと取っ組み合ったり、見つめ合ったり、静かに語り合ったりする豊かなエピソード・資料を交えて、話してくださることと思います。教師の人も教師でない人も、それぞれの持つ教育観、子ども観が揺さぶられ、不安や迷いがモコモコと顔を覗かせるかもしれません。そうなればしめたもの、子どもについて、学校について、教育についてみんなで話し合いたいと思います。乞う、ご期待!!

案内は、ホームページ (<http://manabi-hirogeru.net/>) にも掲載しています。(多くの方の申し込みをお待ちしています) 当日参加もOKです。

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☎✉gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☎✉matumori@crux.ocn.ne.jp)

山本 (☎✉yamamoto2.cham-miku@nifty.com) 堀 (☎✉hori720@hotmail.com)

★次回第12回研究会は、2015年9月19日(土) 午後1時45分~5時 クレオ大阪東 で行います★